2013 年 1 月 31 日

各　位

オリックス株式会社
（コード番号：8591）

2013年3月期　第3四半期連結決算（4月～12月）
当期純利益は前年同期比35％増の901億円
～当期純利益の通期見通しを1,100億円へ上方修正～

2013年3月期第3四半期累計期間（2012年4月1日～2012年12月31日）の米国会計基準連結決算における営業収益は前年同期比12％増の7,834億円、税引前当期純利益は同32％増の1,346億円、当期純利益は同35％増の901億円となりました。

なお、当期純利益は、全てのセグメントが堅調に推移していることもあり、期初の通期連結業績目標1,000億円に対して当第3四半期でおよそ90％の進捗となり、通期の連結業績目標を1,100億円へ上方修正しました。

■　通期の連結業績目標の修正について

	当期純利益（※）
前回発表連結業績目標（A）	1,000億円
今回修正連結業績目標（B）	1,100億円
増減額（B-A）	100億円
増減率	10％
（参考）前期実績（2012年3月期）	835億円
今回修正目標／前期実績（増減率）	32％

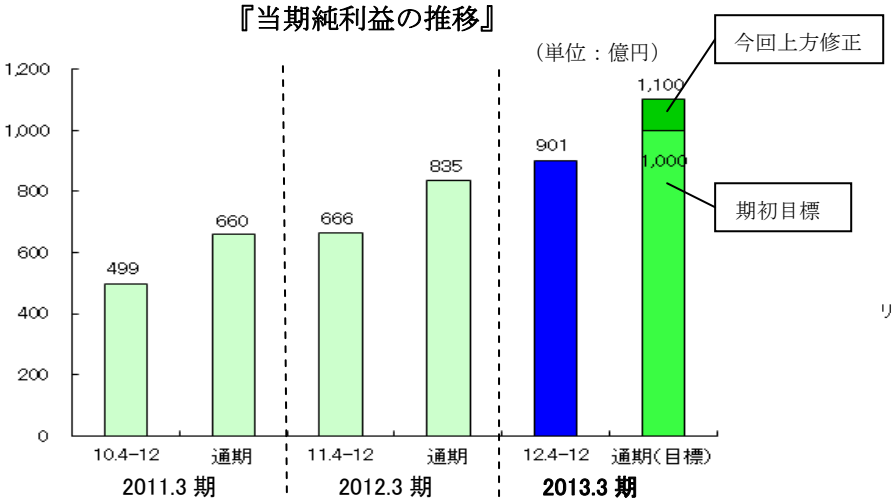
■　主な経営指標の推移

	2011.4-12	2012.4-12	増減率
営業収益	7,020 億円	7,834 億円	12％
税引前当期純利益	1,023 億円	1,346 億円	32％
当期純利益　（※）	666 億円	901 億円	35％

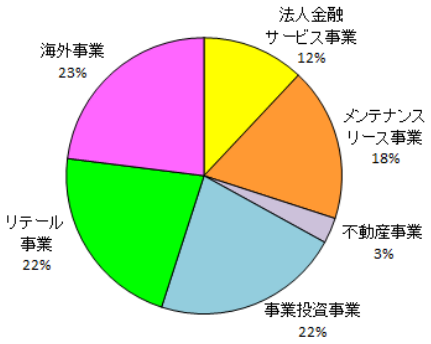
	2012.3	2012.12	増減率
総資産	83,328 億円	82,418 億円	▲1％
セグメント資産	60,021 億円	61,733 億円	3％
株主資本　（※）	13,807 億円	14,795 億円	7％
株主資本比率	16.6％	18.0％	－

（※）「当期純利益」「株主資本」は、決算短信などの財務諸表で記載している「当社株主に帰属する四半期純利益」「当社株主資本合計」を記載しています。「株主資本比率」は、当該株主資本合計を用いて算出しています。

『当期純利益の推移』



『当第3四半期累計期間のセグメント利益内訳』



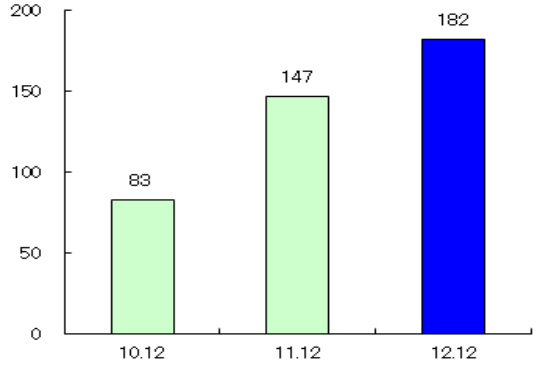
■　各セグメントの業績概要（2012年4月1日～2012年12月31日）

当第3四半期累計期間は、「事業投資事業部門」「リテール事業部門」が前年同期比で大幅な増益となりました。「法人金融サービス事業部門」が堅調に推移するとともに、「メンテナンスリース事業部門」「海外事業部門」が引き続き高い利益水準を確保しています。

【法人金融サービス事業部門】

融資、リース、金融商品販売などの手数料ビジネス

＜第3四半期累計セグメント利益＞（単位：億円）

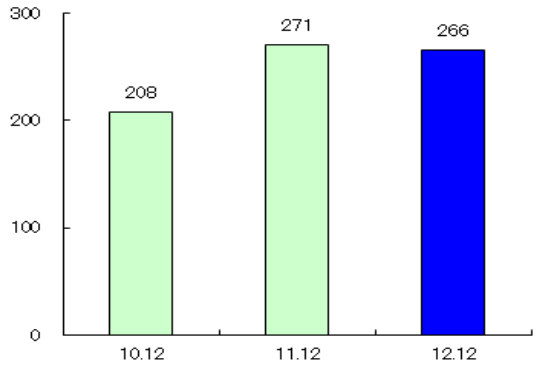


・新規実行高が増加し、ファイナンス・リース収益が堅調に推移。
・貸倒引当金繰入額が減少。
・セグメント利益は、前年同期比 23%増の 182 億円を計上。

【メンテナンスリース事業部門】

自動車リース、レンタカー、カーシェアリング、測定機器・情報関連機器などのレンタルおよびリース

＜第3四半期累計セグメント利益＞（単位：億円）

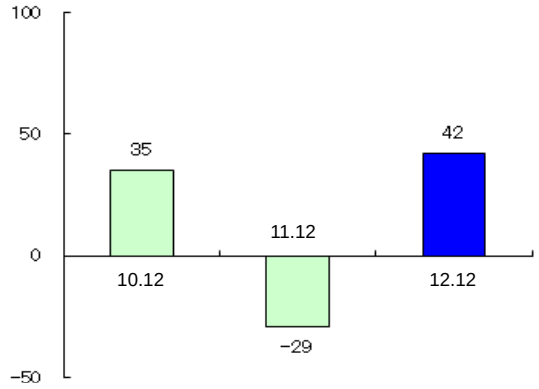


・企業のコスト削減ニーズなどに対応した高付加価値サービスを提供し、収益は高水準で安定。
・新規実行高が順調に増加するとともに、オペレーティング・リース収益が堅調に推移。
・セグメント利益は、前年同期比 2%減の 266 億円を計上。

【不動産事業部門】

不動産開発・賃貸・ファイナンス、施設運営、不動産投資法人（REIT）の資産運用・管理、不動産投資顧問

＜第3四半期累計セグメント利益＞（単位：億円）

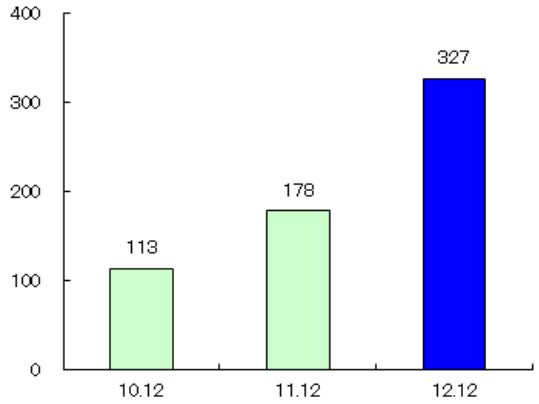


・運営事業からの収益が伸長するとともに、賃貸不動産売却益が増加。
・資産の売却を進め、資産圧縮が順調に進捗。
・セグメント利益は、前年同期の 29 億円の損失から 42 億円の利益に。

【事業投資事業部門】

サービサー（債権回収）、環境エネルギー関連、プリンシパル・インベストメント

＜第3四半期累計セグメント利益＞（単位：億円）

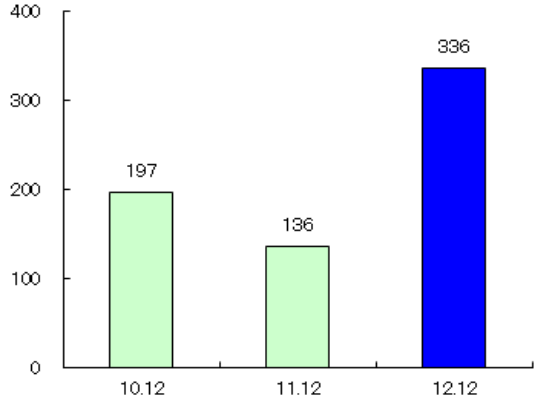


・サービサー事業における大口回収益に加え、㈱あおぞら銀行の株式売却益が貢献。
・投資事業において、既存投資先ならびに新規投資先からの収益が堅調。
・セグメント利益は、前年同期比 84%増の 327 億円を計上。

【リテール事業部門】

生命保険、銀行、カードローン

＜第3四半期累計セグメント利益＞（単位：億円）

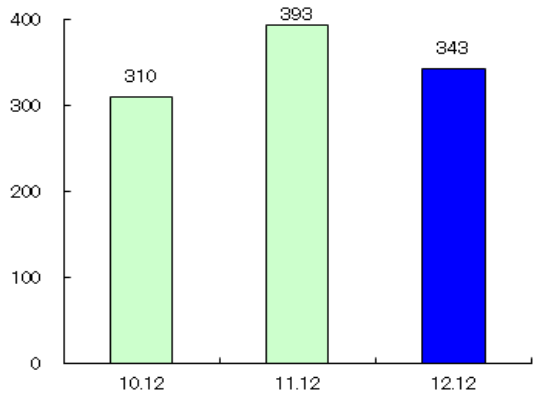


・生命保険事業は、保有契約数の増加により、収益が順調に伸長。
・連結子会社となったオリックス・クレジット㈱が収益に貢献。
・セグメント利益は、前年同期に持分法適用関連会社のマネックスグループ㈱の評価損を計上した影響もあり、前年同期比 147%増の 336 億円を計上。

【海外事業部門】

リース、融資、債券投資、投資銀行、船舶・航空機関連

＜第3四半期累計セグメント利益＞（単位：億円）



・アジアのファイナンス・リース収益や自動車・航空機のオペレーティング・リース収益が堅調に推移。
・米州地域では、ローン債権売却益ならびに手数料収益が増加。
・セグメント利益は、前年同期比 13%減の 343 億円を計上。

オリックスグループは、事業ポートフォリオの分散による事業展開を軸としながら、引き続き中期的な経営戦略である“「金融＋サービス」の加速化”、“アジア等新興国の成長を取り込む”を推進していきます。また、“既存ビジネスの成長と変革”を掲げ、既存の事業基盤の再構築と環境の変化に応じた新たな事業機会への挑戦を続けていきます。

詳細は、当社ホームページにて掲載の決算短信および決算補足資料をご覧ください。
URL　：　http://www.orix.co.jp/grp/ir/settlement/

以 上

＜本件に関するお問い合わせ先＞
グループ広報部　渋谷・堀井　TEL：03-5419-5102